

鹿児島商工会議所

中小建設業経営革新セミナー

新分野 進出ポイント学ぶ

鹿児島商工会議所は26日、鹿児島市のアイムビルで「中小建設業の新たな進出（新たなビジネスチャンスをつかもう）」と題した経営革新セミナーを開いた。県内から40人が参加。これまでの実



例を通して、新分野進出のポイントについて知識を深めた。講師を務めた滝口兼悟（株）建設経営サービス主席コンサルタントは、建設業を取り巻く環境などを説明。「県内建設投資は、13年度の1兆849億円をピークに、21年度は53

・5%（5806億円）まで落ち込んでいる」とし、「中小規模の業者ほど完工高経常利益率が低く、企業存続のために本業で生き残りを図るのか、多角化や転・廃業するのかが、選択を迫られている」と述べた。また、企業存続のため、新分野に進出した企業のアンケート結果を踏まえ、失敗・撤退した企業が最も苦労した点などを紹介。「販売ルート・顧客の開拓」と「市場に関する情報の収集」が、成功した企業と比較して突出している」と説明した。

加世田中武道館完成式典

心身鍛える場に

南さつま市立加世田中学校武道館Ⅱ写真Ⅱの完成式が25日、現地で開かれた。関係者約50人が出席し、新施設の完成を祝った。同武道館建設は、24年度から新学習指導要領に武道が盛り込まれることを受け、安全・安心な学校づくり交付金を活用し、21年度から事業に着手。総事業費約1億円を投入し、約1年の工期を経てこのほど完成した。

施設の規模は、S造平屋建て472・6㎡で、柔剣道場の面積は390㎡（15m×26m）。このうち柔道場（98畳敷）には、県下でも3校目となる国際基準企画に適合した畳を採用した。設計・監理は（有）舞建築設計事務所、本体工は内村建設（株）・（株）有村工務店共同企業体、電気工事は南栄電機（株）、渡り廊下は（有）東土木工業が担当。式には、本坊輝雄南さ



つま市長をはじめ園田豊県議、同校柔剣道部の生徒ら約50人が出席。冒頭、本坊市長と大原俊博市議会議員が「礼に始まり、礼に終わる。志を大きく持つて武道に励んでもらいたい」と挨拶した。これを受けて、生徒代表は「この素晴らしい武道館を使って、心と身体を鍛えます」とお礼の言葉を述べた。

労働災害の撲滅を

（株）技建（桑木野芳明社長、薩摩川内市）は15日、同市の太陽パレスで安全祈願祭（山神祭）と新年



企業繁栄を祈った祈願祭＝薩摩川内市の太陽パレスで

祈った。神事では、桑木野社長や小鷹靖則建友会長（（株）キューオン取締役営業部長）ら

このほか農業分野参入の成功のキーワードに、「付加価値」「販路」「資

良質の粉炭を製造販売

炭パワーで島興し

奄美市の田中組



田中昭吾社長

奄美市等利町の（株）田中組（田中昭吾社長）は同町内の自社炭化工場で、チップ工場から

福祉に役立てて



なお同日は、「社会福祉活動に役立てほしい」と、桑木野社長から薩摩

が神前に玉ぐしを奉てん。今年1年間の無事故で頑張ろう」と呼び掛け

不動産収益改善セミナー

建物修繕計画で維持を

CRC企業再建・承継コンサルタント協同組合（真部敏巳代表理事）は25日、鹿児島市のかごしま県民交流センターで「不動産収益改善のポイントと地域マーケット」と題したセミナーを開いた。同セミナーは、賃貸や分譲マンションなどの空室率の増加に伴い、不安を抱える不動産オーナーに対して、収益改善に必要な賃貸管理マネジメン



優良な仲介業者を選んでほしい＝と訴える真部氏＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで

トの考え方や対応策をアドバイスするもの。同日は、真部代表理事が空室リスク対応策や実例を通して、収益改善のポイントなどを分かりやすく紹介。「リーマンショック以来、空室が増加している。新規入居者や現在の入居者を維持・確保するには、値下げなど早めの対応が必要。また、建物の価値を保つためにも修繕計画は忘れてはならない」と

自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ



時計草やマンゴーづくりを行ってきた。土壌づくりの大切さを日ごろから痛感していたある日、炭パワーについて書かれた本に出会った。有害物質の吸着や透水性、保水効果のある炭に可能性を感じ

取った田中社長は、同町赤木名に建設した炭化工場で22年8月から粉炭を製造し、主に農業用土壌改良材として販売している。総務省統計によると、県内の木炭生産量は年間約700tだが、同

田中社長は「奄美は、日本で最大の草木粉炭供給地になる可能性がある。炭販売による利益はごくわずかだが、現地で製造する安価で高品質の炭を使ってもいい、付加価値の高い野菜や果実・畜産や養